

～他競技場ボランティア活動情報～ 『湘南ベルマーレ ゲームボランティア』

Jリーグが誕生して8年が経ちました。今やどこの会場でもボランティアの存在は欠かせません。ここでは私が所属している湘南ベルマーレのゲームボランティアについて紹介します。

現在、会員は約110名おり、ベルマーレのホームゲームにおいて活動しています。活動内容はスタンドの清掃に始まり、関係者及び身障者の案内、場内点検、ゲート業務、試合終了後の清掃で終わります。横浜国際総合競技場（以下横浜国際と略す）と違い、私達ボランティアが自主的に行う事が多く、活動終了後、汗だくになる事もあります。

次に活動の流れを紹介します。原則としてキックオフ3時間前に集合、全員で打ち合せをした後、各持ち場へと分かります。持ち場は大きく分けてゲート・関係者受付・身障者対応の3つがあります。キックオフ2時間前に開門。“いらっしゃいませ”のかけ声と共に早くから行列で待っていたお客様が入場します。ゲートではチケットのもぎり、配り物、入場者のカウント等を行います。キックオフ30分前から開始直後の間は来場者が多く、さらに活動参加者が少ない時には、自分の持ち場だけでなく他の業務を兼ねることもありますので、横浜国際とは比べものにならない忙しさです。

試合が始まってようやく一息つき、交代で休憩をとります。束の間の休憩が終わり試合の終了が近づくと片づけの準備に入ります。“ピッ・ピー！”終了のホイッスルと同時にゲートに向かうお客様に“ありがとうございました”と声をかけながらスタンド清掃に入ります。この清掃が活動の中で最も大変ですが、お客様から“お疲れさま”“ありがとう”と声をかけられると“あーやってよかった！よし、次もがんばろう”という気持ちになります。清掃終了後、控室の片づけをして一日の活動が終了します。

最後にお互いの雰囲気について比較します。湘南はチームに対する活動であるのに対し、横浜国際は競技場施設に対する活動であると思います。従って活動に参加する目的が前者は“チームが好き”“サッカーが好き”という方が多いのに対し、後者はそれに加えてボランティアそのものが好きという方も多い気がします。参加目的は異なっても活動しようという気持ちは同じだと思ってお互い協力しあってよりよい組織になっていけばと思います。そしていつか両者の交流が出来たらいいなと思いつつ報告を終わります。

菅沼 哲也（U）

2000年10月28日

サッカーフリークパーティー 蹴球自由区交流会見聞記

渋谷つば八にて

先日、渋谷である小さな交流会に参加してきました。そこでは、様々な形でサッカーに情熱を燃やしている方々にお会いすることができたので、短い時間でしたが充実した時間でした。参加者には、団体代表の方や個人参加という方もいらっしゃいました。ただ皆さん、2002年W杯に向けて活動の内容はさておき、色々な事を考えそしてそれを実行に移している方々でした。私は偶然に日本サポーター協会（JSA）の理事長をされている方の隣に腰を据えて、沢山の話を聞かせて頂きました。JSAの活動目的は、JSAホームページを6カ国語で作成し、世界から集まってくる沢山のサポーターのための情報発信をしたいということです。中でも私の興味を一番引いたのは、JSAホームページ上にダフ屋情報を載せたいというものでした。「ダフ屋」と言ってしまうと抵抗感があると思いますので、もっと正確に言えば、「ダフ屋の中での適性価格情報」と言った方がいいでしょう。このJSAの方もあのフランスW杯でチケットを高額で買わされた一人です。その悔しかった思いを今度日本へやって来る世界中のサポーターにしてもらいたくない、日本でサッカーを楽しんで帰ってもらいたい、という思いからこのような情報提供を考えているそうです。私もサッカーファンとして、一ボランティアとして自分なりに出来る事を考えて行きたいと思います。以下、JSAのホームページです。興味のある方は、是非どうぞ！

<http://www.jsa-npo.or.jp/> 山口 彰悟（U）

知人に誘われてJリーグ関係のボランティア交流会に参加してきました。サッカーの話で楽しめるだろうと軽い気持ちで行ったのですが、活動報告をきちんと説明してくれた団体や、発足から現在に至るまでの経緯をきちんとレポートにまとめて配布してくれた団体もあり、研修会のような始まり方に少々ビックリしてしまいました。どの団体も2002年W杯に向けて着々と準備をしていることに感心しました。

浦和では、個人負担でイギリスやフランスへ出向きボランティア研修を行ったそうです。新潟では、街全体の盛り上げを図るためサッカーの試合だけではなく、各地域のイベントにも積極的に参加しているそうです。話をしているうちに、最初はW杯が大きな目標で始めたボランティアだけれど、様々な経験を通じ、それがゴールではなく、いつまでもボランティアとして関わっていきたい。みなさんそのような気持ちを持っていることに気がつきました。

私もサッカーファンとしてW杯に対する熱い思いが湧いてきたと同時に、その後もしっかりとスポーツボランティアとして成長していきたいと改めて思いました。と硬い話ばかりでなく、最後はサッカー談義に花が咲いてとても楽しかったです。この会を企画された方がホームページでサッカーボランティアの情報を掲載しています。私達の活動内容も紹介されています。

<http://www.geocities.co.jp/Athlete-Athene/4788/>

中村 香(U)

ボイス

VOICE

ボランティアの声

ボイス

VOICE

ボランティアの声

ボイス

VOICE

「ボランティアと私の出会い」

鈴木 麗子(U)

以前から「何かボランティア活動に参加してみたい」という気持ちがあり、私に出来るものはないか・・・と気にかけていたところ、5年前に自分にもできるスポーツに関わるボランティアに出会うことができました。そして一昨年、この競技場のボランティアに登録をし、活動に参加することになりました。あれから早2年、この間にいろいろなお客様との出会いがありました。

指定席の方が出入りする時には必ずチケットを拝見するので、お客様に「チケットお持ちですか？」と尋ねると「顔を覚えておいて」と一言。その後、なぜかお客様は戻ってきませんでした。あるお客様はチケットを見せるのが面倒なのか、声をかけても見せずにさっさと出て行かれてしまい、入る時はチラッと見せるだけで確認するのが大変!! このような時、何回も声をかけて良いのか困ってしまったりもしました。でも、試合終了後、私たちの「ありがとうございました!」の言葉には、ニコリ笑顔で帰って行かれました。「あー、良かった」と、ひと安心.....。

今年もボランティア研修会で学んだことを活かせる場、自分を確かめられる場が出来たことを大事にして、お客様との一瞬々々の出会いを大切に、“人から必要とされ”自分のために活動が出来ることがあることを素晴らしいと思うように活動していきたいと思っています。



OFFSIDE・おかしな話

今回は活動調整アンケートについて考えてみたいと思います。私達はボランティア活動がある度に、事前に事務局からアンケートが送付されてきますが、締切日までにきちんと返送していますか？事務局によると回収率は悪いそうです。アンケートに記入して返送するのは、ほんのわずかな時間で出来ることです。活動の割り振りにかかる時間や、その後の調整もありますので締切は守るように心掛けましょう。「自分一人位遅れたっていいや、今回は出られないから返事なくていいや」と考えている人がいたら大間違いです。一人の勝手な思いが周囲に多大な迷惑が掛かる事を頭に入れておいて下さい。それに返事が遅れたりすれば、この人はいい加減で当てにならない“ボランティア活動する意欲がない”と思われるかも知れません。結局、自分がつらい思いをする羽目になりますよ。

ちなみに、アンケート送付にかかる費用を計算してみると・・・

切手代 80 円 + 葉書代 50 円 = 130 円 / 回

1 回の送付金額 (500 名) 65,000 円

年 4 回の送付で 260,000 円

これだけの経費がかかることも頭に入れて活動していきましょう!

紙上見学ツアー

皆さんもご承知のように、この競技場の施設はすべて桁外れに大きく、見学ボランティアにとってそれが悩みのタネになることもあるのです。

たとえば、二階席に向かい合うようにある当競技場自慢のふたつの大型映像装置の映像部分のサイズは、マニュアル通りに言うと『縦 9 m、横 19 m』となっていますが、実際のところ大きすぎてどの位の大きさが実感として伝わりません。そのうえ親切心でバレーボールコート 1 面分などと具体的(?)な比較をするに及んでは、見学者はその時点でパニックです。

私の当番の日が来て、何かいい方法はないかと考えていると、その日は試合の翌日でした。いつも通りに少々の疑問を持ちながらも問題の映像装置の説明に移ろうとした時、場内清掃の人達が映像装置のすぐ横で作業をしていたのです。その人達の大きさと比較してもらいましたら、やはりその時の見学者の反応はいつもと違ったものになりました。しかし清掃作業は毎日やっているわけではないので、今は時計の針を比較の対象にして説明しています。

マニュアル通りの説明ですと、数字的に大きなものはウケが良くありません。見学者も数字の大きさに圧倒されているだけのようです。